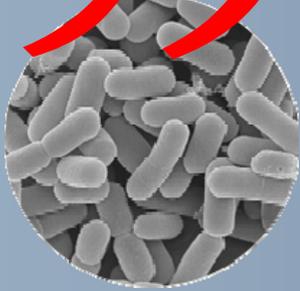


競走馬専用

ラクフィ



サラブレッド(日本ダービー馬)の腸管由来
乳酸菌・ビフィズス菌サプリメント



液体(凍結)

競走馬の疝痛よけ・軟便対策・ストレス軽減に

”ラクフィ”の給与で期待されるプロバイオティクス効果

便秘や軟便の防止・整腸作用・成長促進

乳酸菌とビフィズス菌の抗菌作用による腸管での病原菌の撃退

乳酸菌とビフィズス菌が腸管の細胞に働きかけて、身体の免疫力を活性化

■ストレス軽減効果

馬のストレス度は血清アルブミンの抗酸化度により求め、”ラクフィ”はストレス軽減効果を科学的に立証しました。

JRA 競走馬総合研究所の報告によると、競走馬の 85.4%に胃潰瘍があります。

また、疝痛の徴候が見られる馬は、内視鏡検査の結果、健康馬よりも胃潰瘍の確率が高いとの報告もあります。

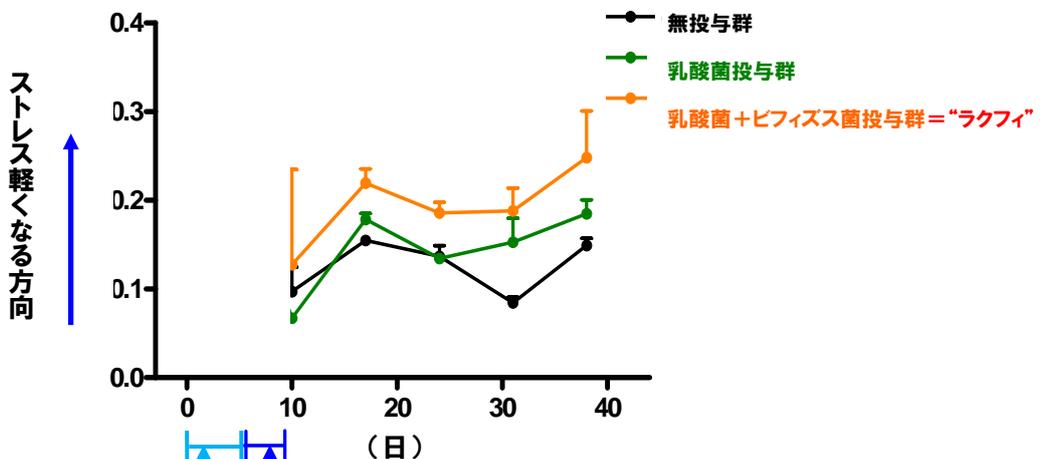
”ラクフィ”(生菌)の供給により、整腸効果ならびにストレス軽減効果は、疝痛と胃潰瘍を予防・防止することが期待されます。

[参考資料]

下図は、血清アルブミンの抗酸化の測定を行うことにより”ラクフィ”投与馬のストレス軽減度合を測定したグラフです。

”ラクフィ”投与群の馬(オレンジ色の線)は、ストレスが軽くなっています。

血清アルブミンの抗酸化性(フリーSH 基保有率)



馴らし期間 “ラクフィ”を投与した5日間(その後、7日間ごとに継続投与)

■ 疝痛・軟便対策

“ラクフィ”の乳酸菌とビフィズス菌は、馬の腸内に多くが生残り、腸内のバランスを長く保ちます。

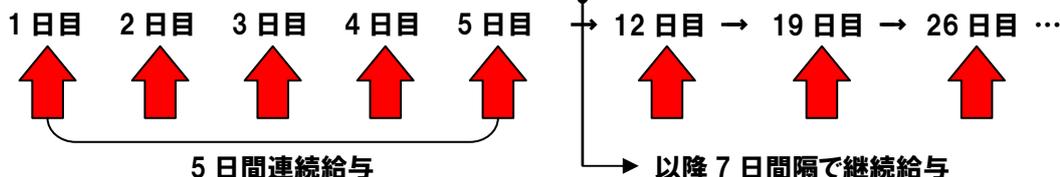
抗生物質の投与は即効性がありますが、腸内の善玉菌を低下させ、馬の腸内バランスは著しく崩れ、免疫力の低下を招きます。

“ラクフィ”は、競走馬の軟便・疝痛等の予防・改善、そして抗生剤との併用にも有効です。

■ 給与方法 基本パターン

成馬（競走馬）

給与開始



※ラクフィ(液体) …使用する1時間～30分前に室温で融解します。

※ラクフィ(粉末) …冷蔵で保存し、そのまま使用します

■ 給与方法 体調不良時

疝痛・下痢症状が現れた場合や輸送前後・強い調教・追いきり前後は、“ラクフィ”を連続で給与することを推奨します。

抗生物質投与時の“ラクフィ”給与は支障がなく、併用しての給与を推奨します。

■ “ラクフィ”のコンセプト

サラブレッド（日本ダービー馬）の消化管より分離した菌種を遺伝子レベルと性状試験から同定しました。

ラクトバチルス・ジョンソニー (CF21 株)	} 乳酸菌	} ラクフィ
ラクトバチルス・ルミニス (CF14 株)		
ラクトバチルス・ロイテリ (CF18 株)		
ラクトバチルス・エクイ (CF15 株)		
ビフィドバクテリウム・ボーム (CF32 株)		



■ 保存方法



ラクフィ・液体 → 冷凍

保障期間 … -80℃で半永久的・-20℃（家庭用フリーザー）で2年間 ※融解後は冷蔵庫での保管は4日間

【ご注意】 “ラクフィ”は競走馬の消化管から採取した「生きた乳酸菌とビフィズス菌」のため、保存方法を厳守下さい。

【お問い合わせ・発売元】

JRAファシリティーズ株式会社
美浦事業所 TEL 029-885-2161
栗東事業所 TEL 077-558-0319

岩崎清七商店 TEL 03-3201-1666

【製造元】

クロスフィールドバイオ株式会社
CROSSFIELD Inc.

TEL 03-5833-1580

Mail service@crossfield-bio.co.jp